



農委だより 常総

平成30年1月1日発行
第24号

〒303-8501
茨城県常総市水海道諏訪町3222番地3
電話0297-23-2111 (代表)

発行/常総市農業委員会

編集/農委だより常総編集委員会



農業委員会では、耕作放棄地を解消するため、荒れた農地を再生し、青パパイヤを作付して栽培しています。今年度は、学校給食に青パパイヤを提供しました。

青パパイヤを使ったサラダ

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。常総市農業委員会は、昨年8月、新体制に移行し、農業委員19名と農地利用最適化推進委員17名が、農地利用最適化の推進に向けて日々活動に取り組んでおります。

まず、平成29年9月29日の総会において、「常総市農業委員会農地利用の最適化の推進に関する指針」を策定し、遊休農地の発生防止・解消について具体的な推進方法と解消目標を設定しました。現在の遊休農地の20%を解消目標とし、平成35年度までに約10haの遊休農地を計画的に減らすことを目指します。

また、一度遊休農地となると解消が難しくなることから発生防止に一層取り組みることとし、農業委員と推進委員が連携し、農地利用状況調査を行いその結果を踏まえて農地利用意向調査を実施します。さらに意向調査の結果を考慮し農地の利用関係の調整を行います。調整については農家の意向を尊重しながら農地中間管理機構への貸付けを推進して参りますので、農地の調整でお困りごとがございますら、お近くの農業委員、推進委員を通じて農地の集積にご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

結びに、皆様方のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のごあいさつ



農業委員会 会長
倉金 一 廣

本年もよろしく
お願いたします

上段 農業委員(議席順)
下段 農地利用最適化推進委員(地区順)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 増田 亮 | 下村 利治 | 田村 匡史 | 倉持 孝男 | 鈴木 将之 | 石塚 寛一 | 塚田 忠男 | 中島 清 | 和田 勇 | 稲葉 元一 | 古谷 克美 | 染谷 幸子 | 坂入 伸子 | 岡野 孝一 | 内海 浩之 | 菊地 義男 | 門井 貢 | 山野井喜仁 | 倉金 一廣 |
| 染谷 稔 | 大島 定男 | 慶野 正一 | 小林 仁一 | 古谷 保 | 関口 利一 | 渡辺 宏行 | 菊田 政光 | 中荻 芳幸 | 鈴木 幹夫 | 糸賀 達 | 吉田 博 | 倉持 信雄 | 倉田 光雄 | 石嶋 照夫 | 稲葉 知信 | 町田 定夫 | | |



地域の担い手

新規就農・大花羽地区

松村 欣 幸さん



収穫を控えたリーフレタスの前にて

私は、平成29年の夏に新たに農業を始めました。リーフレタス、ズッキーニを主に栽培しています。もともと岩手県の出身で、以前は、工場関係の仕事をしていました。平成28年から常総市に移り住み1年間、先進農家である農業委員の菊地義男さんご家族にお世話になり、研修をしました。

実際、就農してみると思いどおりにいかないことも多く、失敗することもあります。が、「すべては、勉強」という気持ちをもって頑張りたいと思います。

これから研修で学んだことを生かしつつ、新しい技術、栽培等があれば、できる範囲で積極的に取り入れていきたいと思えます。

農業次世代人材投資資金

全国的に農家数が減少する中、常総市でも担い手不足は深刻な問題です。

松村さんのように、常総市で、新たに農業を営みたいという青年に対し市では、様々な形で応援しています。

経営開始(独立)直後の新規就農者に対して、最長5年間、年額最大150万円の資金が交付される場合もありますので、市農政課(☎9037)へお気軽にお問い合わせください。

紹介推進委員



宏 員 行 渡 辺 委

昨年、大花羽地区で新たに農業を始めた松村さんを紹介しました。

今後、彼のような若者が現れることを期待します。

消費者として思うこと

玉地区

倉田 梢さん



地元の新鮮野菜

・お米が笑顔のもと

今から13年前、私は主人と一緒に農業を営み始めました。農業の知識などは、全くなかったのですが、自分に関わるお米や野菜の栽培、収穫、料理等々、経験も素材も何もかもが新鮮で、喜びや感動の毎日でした。

元々肌が弱かったこともあり、家庭菜園は極力無農薬、施設園芸も低農薬で肌への負担を最小限に抑える栽培をしていたのですが、体調の限界を感じて、数年前に転職を余儀なくされました。

しかし、農業に従事してい

紹介農業委員



貢 員 井 委 門

玉小の校外学習で稲作や施設園芸の魅力を伝える一方、読み聞かせやPTA役員等意欲的に活動する倉田さんを紹介します。

た経験が今でも生きています。以前はあまり気にしなかったのですが、店頭に並ぶ農産物の鮮度や、品質、病害虫の有無などが手に取るようにわかるのです。子どもたちも自然と野菜の味を覚え、新鮮であればほとんど好き嫌いなく食べます。家庭菜園で得られないものはやはり地元の生産者の方々が作られた、みずみずしく光り輝くような農産物に手が伸びます。

我が家は、災害等でも何度も被害を受けました。苦勞がわかるからこそ、地元の農産物を愛してやみません。

みんなを笑顔にする地元の農産物をこれからもずっと応援し続けていきます！

農地利用状況調査を実施

昨年10月から11月に、新しく委嘱した農地利用最適化推進委員と農業委員が合同で常総市全地域の農地利用状況調査を行いました。

推進委員の担当地区における農地について、図面をもとに現地を確認し農地として適正に耕作または管理されているかを調査しました。

この利用状況調査をもとに農地利用意向調査を行いますので、地権者の皆様にはご協力をお願いいたします。

今後、高齢になり農業を続けていくのが難しい、誰か耕作してくれる人はいないだろうかなど、農地調整が必要な場合は、お近くの農業委員、推進委員にご相談ください。



農業委員と推進委員が協力して調査を行っている様子

耕作放棄地解消活動
のその後
（青パイヤ販売・学校給食へ提供）

常総市農業委員会では、耕作放棄地解消対策として、今年度も常総市大沢地内において、農業委員、推進委員が耕作放棄地を解消し青パイヤを作付け、収穫、販売を行いました。

収穫した青パイヤの実は、10月15日にあすなるの里で開催された「秋まつり」で販売。さらに、11月5日には、石下庁舎において開催された「常総ふるさとまつり」での軽トラ市で販売し売上は常総市へ納入しました。

また、今年度は新たな試みとして、食育の観点から子ども達にも青パイヤの実に慣



解消作業の様子



パイヤ販売の様子(常総ふるさとまつり)

れ親しんでもらおうと10月に玉学校給食センターへ、11月には豊岡学校給食センターへそれぞれ食材として提供し、市内小中学校の給食に使われました。（表紙写真参照）

青パイヤには、パイヤ独特の酵素をはじめ、食物繊維などさまざまな成分が豊富に含まれており、パイヤの酵素は肉を柔らかくしてくれる効果もあります。また味にクセがないので、小さい子どもからお年寄まで、煮物やキンピラ、サラダなどの料理で楽しむことができます。

皆さんもぜひ、この機会に料理の腕を振り、南国産の青パイヤの実をご賞味ください。

かかしコンテストで
農業委員会会長賞を授与

昨年11月5日に石下庁舎で開催された常総ふるさとまつりでは、農業まつりや商工業まつりなど、各種団体の出店や多彩なイベントで会場が盛り上がり、天候にも恵まれたため、大勢の家族連れでにぎわいました。

そのような中、恒例のかかしコンテストの表彰式が行われ、個性豊かな36体のかかしの中から、常総市水海道第5保育所の「ほくたちのレゴランド」が農業委員会会長賞を受賞しました。受賞された皆様、誠におめでとございます。



受賞した「ほくたちのレゴランド」

平成28年 主要業務実績

農地移動の実態

(1月～12月)

条 項 別	件数	面積(m ²)
3 条	所有権移転	246 454,117
	賃 貸 借	5 76,700
	使用貸借	12 88,657
	届 出	111 611,670
4 条	許 可	31 17,914
	届 出	6 5,765
5 条	許 可	113 138,520
	届 出	11 3,841
4・5条制限除外	9	35,392
大臣許可	—	—
18条解約	317	1,031,008
証 明	非農地証明	10 10,190
	転用事実証明	3 1,808
	現況証明	8 9,551
農業経営基盤強化	1,015	3,980,142

平成28年 農用地利用集積事業

(1月～12月)

地 区 別	面積(m ²)	地 区 別	面積(m ²)
水 海 道	61,729	内 守 谷	82,344
豊 岡	276,318	菅 生	600,442
菅 原	174,916	大 塚 戸	19,959
大 花 羽	114,200	石 下	307,612
三 妻	422,963	豊 田	193,521
五 箇	242,494	玉	285,903
大 生	850,205	岡 田	165,504
坂 手	71,835	飯 沼	110,197
計		3,980,142	

田畑別面積

田	3,029,689 m ²
畑	950,453 m ²
計	3,980,142 m ²

遊休農地解消活動の 先進地視察研修を実施

昨年の10月24日、農業委員・推進委員22名が、埼玉県宮代町農業委員会（折原昇会長）において先進地視察研修を行ってきました。

宮代町には東部動物公園があり、人口は約3万5千人です。農業委員会では、遊休農地解消活動として、農業委員自らが耕作放棄地を解消し、そば等を作付けし、担い手への集積につなげているとのことでした。

また、新規就農者への支援についても「宮代町農業担い手塾」を立ち上げ成果をあげていますが、当市同様に担い手不足は深刻であるとして苦労を語っておられました。



研修で訪れた宮代町研修所「新しい村」

農家訪問

五箇地区

飯村 一二男さん
飯村 翼さん



息子の翼さん(左)と飯村さんご本人(右)

米作を専業として農業を営んでいる飯村さんを訪ねました。

飯村さんは、五箇地区で認定農業者として、早生品種のあきたこまちやコシヒカリ、又飼料用米といった水稲を約40ha作付けしています。27年の水害では、建物の1階天井まで水に浸かり農業機械等も水害に見舞われたそうです。

その後、ボランティアの皆さんの協力によってなんとか片付けが終わり、現在は災害前と同様に戻り、農業が出来るまでに復旧したとのことでした。

「一度は、農業を諦めかけましたが、40年以上も続けてきたので、やはり私には農業しかないと思います、続けることにしました。これもボランティアの皆さんのおかげです、ありがとうございます。」

と感謝されていました。今後は、作付面積を増やし、今年からは野菜の栽培も始めましたと笑顔で話されていました。

紹介 農業委員



田中 忠員 塚 委

災害にも負けず、頑張っている飯村さんを訪問しました。

農地の適正管理にご協力を

昨今の異常気象による大型台風の上陸やゲリラ豪雨により、一時に大量の雨が降ると、農地から土が流れ出し、道路

や水路に被害が出る場合があります。

農地の耕作者の方は、あらかじめ対策を講じるなど農地の適正管理にご協力をお願いいたします。

農業者年金に加入しましょう

農業経営と老後の生活をがっちりサポートします。

農業者年金は、少子高齢化に即応した農業者の公的年金で、積立方式の安定した制度です。

取めた保険料が全額社会保険料控除になるなど、税制面での優遇措置があります。また、認定農業者など一定の条件を満たす農業者には保険料の助成もあります。

次の3つの要件を満たす方ならどなたでも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方も安心してご加入いただけます。

加入条件

- ① 60歳未満の方
- ② 年間60日以上農業に従事
- ③ 国民年金第1号被保険者

そのほか保険料は自分で選べ、いつでも変更ができ、また、80歳前に亡くなった場合

には、死亡一時金が遺族へ支給されます。

詳しくはお近くの農業委員又は農業委員会事務局までお問合せください。

編集後記

農委だより第24号をお届けします。今回の表紙は、耕作放棄地の解消対策として栽培した青パパイアの実を学校給食として提供した時の写真です。

学校では、青パパイアを初めて見た児童が多く、知っていたのは数名だけでしたが「初めて食べたけどおいしかった。」「残さず食べるぞ。」と感想を寄せてくれたとの事です。

これからも、耕作放棄地の解消・再生利用に取り組んでいきたいと思えます。

営農と暮らしに役立つ



発行日 毎週金曜日
購読料 一ヶ月七百元

申し込みは農業委員会へ